

南海トラフ大地震はいつ?

妊婦、乳幼児、女性を守るためにどうする!!

～相次ぐ自然災害から学び、提言する～

主催:こども女性ネット東海 共催:特定非営利活動法人市民フォーラム21・NPOセンター

日時 1月27日(日) 13時～17時
会場 日本福祉大学東海キャンパス

参加費無料
定員200名



第1部 被災地から学ぶ

13:00～13:25 開会挨拶・来賓挨拶
13:25～13:35 趣旨説明

13:35～14:25 基調講演1 青木 信之さん
「相次ぐ自然災害、どう備えるか」

14:25～15:15 基調講演2 藤井 宥貴子さん
「熊本地震、私たちはどう動いたか」

15:15～15:25 休憩

講演者紹介



青木信之さん
前消防庁長官



藤井宥貴子さん
熊本こども・女性支援ネット代表
元熊本市男女共同参画支援センターはあもにい館長
熊本県民交流館/パリア館長

第2部 南海トラフはいつ? 妊婦・乳幼児・こども・女性を守るために

15:25～16:30 パネルディスカッション
「南海トラフに備え、妊婦・乳幼児・こども・女性を守るために私たちはどうする」

パネラー:青木信之さん/藤井宥貴子さん/塩崎美穂さん/伊藤佳林さん
コーディネーター:藤岡喜美子さん

16:30～16:55 「私たちの活動紹介」
「こども女性ネット東海7つの基本方針」 山口 由美子さん

「妊婦・乳幼児・こども・女性のための
自主・指定避難所マップサイトの紹介」 向田 邦江さん

16:55～17:00 閉会挨拶

登壇者紹介



塩崎美穂さん
日本福祉大学こども発達学部こども発達学科



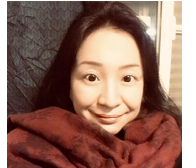
伊藤佳林さん
可児市NPO協会防災カフェ企画担当



藤岡喜美子さん
こども女性ネット東海代表
NPO法人市民フォーラム21NPOセンター事務局長



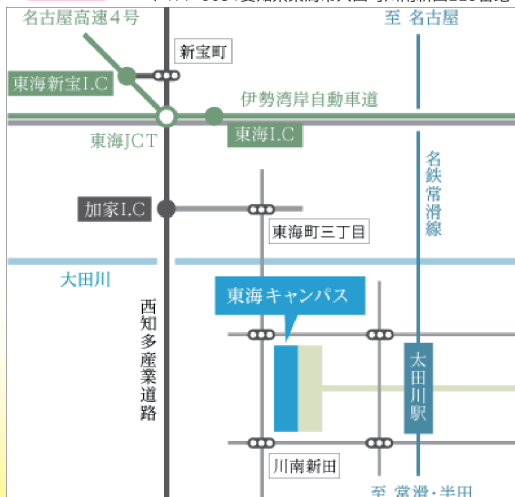
山口由美子さん
こども女性ネット東海副代表
可児市NPO協会理事



向田邦江さん
一般社団法人ウーマンキッズ・ラボ
代表理事

周辺地図

日本福祉大学 東海キャンパス
〒477-0031愛知県東海市大田町川南新田229番地



【後援】

日本福祉大学、愛知県、愛知県社会福祉協議会、名古屋市、東海市、北名古屋市、北名古屋市教育委員会、東海市教育委員会、知多メディアスネットワーク(株)

【協賛団体】

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

【協力団体】

公益社団法人名古屋民間保育連盟
一宮市子育て支援団体 iriefam
一般社団法人ウーマンキッズ・ラボ
エンパワメントみえ
特定非営利活動法人可児市NPO協会
特定非営利活動法人Kids&Mams NPOねこのて
特定非営利活動法人次世代健全育成サポートあひるっこ

特定非営利活動法人Smiley Dream
特定非営利活動法人チャイルドヘルプラインMIEネットワーク
ハーレーサンタCLAB NAGOYA
特定非営利活動法人ひだまりの丘
特定非営利活動法人まち・ネット・みんなの広場
特定非営利活動法人ママ・ちょこ
特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンター

わたし達の思い

東日本大震災から7年が経過し、一部で「風化」が指摘されています。2016年4月14日、16日に発生した熊本地震では、「子どもが泣いたら迷惑になる。」「感染症が怖い。」などの理由から避難所を避けて、屋外のテントや車中で過ごされた方は少なくありませんでした。

その後も西日本集中豪雨、北海道地震と自然災害が相次ぎ発生しています。さらに南海トラフ大地震が起きることは確かです。「天災は忘れたころにやってくる」という格言通り、大地震が起きた直後は備えますが、被災地から遠い地域ではすぐに忘れてしまいます。私たちは、災害が発生した時のために、今を生きる大人の責任として、子どもの声を聴き、子どもとともに主体的に今、何を行うべきか考えます。

また、「自分の命は自分で守る」それは、妊婦・乳幼児・子ども・女性も例外ではなく、日ごろからの備えが大切です。このことを肝に命じ活動していきます。

次に地域力による共助、さらには公助を考えます。

熊本震災10か月後の熊本県の調査によれば、夜泣きが増えた、暗い場所を怖がるなど親子の55%に精神的影響がありました。そこで、私たちは、共助、公助において、災害時に見落とされやすい妊婦・乳幼児・女性の命を守るにはどうすればよいか、できるだけ早く日常の安心を取り戻すためにはどうすればよいか、相次ぐ自然災害から学び、皆様と意見交換し、活動していきます。

「こども女性ネット東海7つの基本方針」

- 1 災害に対する日頃からの備えの大切さを啓発していきます。
- 2 子育てママの防災活動を応援します。
- 3 日頃より、想定される避難所等を拠点とし、こどもや女性の安心をつくることのできる助産師、保育士、看護師等専門家のネットワークをつくり、地域のこどもも主体的に関わり、地域のひととの「安心をつくるひと」のネットワークづくりを行います。
- 4 妊婦、乳幼児、こども、女性を守るための避難所運営ができる女性リーダーの人材育成に努めます。
- 5 災害時救援物資が確保できるように努めます。
- 6 東海地域の中学校区にひとつ、地域の人による、地域の資源を活かした妊婦・乳幼児・こども・女性のための自主及び指定避難所が開設できるように支援します。
- 7 妊婦・乳幼児・こども・女性のための自主及び避難所への救援物資の提供など政府・行政へ提言していきます。

南海トラフ大地震はいつ？ 妊婦、乳幼児、女性を守るためにどうする!!
～相次ぐ自然災害から学び、提言する～

参加申込書

お名前	
ご住所	
電話番号	
E-mail	
ご所属	
ご意見 ご提案	

【申し込み】

お申し込みは申し込み書に必要事項をご記入の上、メール・FAX・郵送にてお送りください。

〒462-0819 愛知県名古屋市北区平安1丁目9番22号

特定非営利活動法人市民フォーラム21・NPOセンター（担当：和実、藤岡）

TEL 052-919-0200 / FAX 052-919-0220 e-mail seminar@sf21npo.gr.jp

